

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 20 日

仕事の内容	街路灯新設事業			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 6	-
【施策名】 防災・防犯体制の推進	総合計画書 (ページ)	93	

予算名	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路新設改良費	事業 4 街路灯新設事業費
-----	---------	-------------	-------------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	空堀川沿線歩道(管理用通路)の歩行者	→ 計画設置本数(累計)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	歩行者の安全対策と防犯対策を図る。	→ 実績設置本数(累計)
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	街路灯の設置	→ 実績設置本数(累計)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	本	132	132	132	
	成果指標	②の数値	本	107	112	117	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	本	5	5	5	

3 経費	事業費(実績)		円	4,266,000	4,266,000	4,622,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	4,266,000	4,266,000	4,622,400	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	6,746,100	6,741,900	7,095,600		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	開始時期:平成18年度から。 目的:空堀川沿線歩道(管理用通路)の利用者が、夜間でも安心かつ安全に歩けるようにするため。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	なし

仕 事 の 内 容	街路灯新設事業			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	空堀川整備後の管理用通路に街路灯が設置されていない箇所があり、早期設置の要望がある。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
	占用関係等の東京都との調整ごとが多く時間がかかってしまうため、東京都の河川整備後、すみやかに街路灯を設置することが難しい。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	東京都と密に連絡を取り合い、協議等を行った。
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
今後も密に連絡を取り、継続的に設置を進めたい。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	期間に余裕を持って東京都との調整を行い、河川整備後、すみやかに街路灯の設置を行う。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	街路灯の設置が必要な箇所の把握。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。